2021.01.28

Leslie G. Ungerleider

小嶋祥三

雑誌 Neuron に Ungerleider の追悼文があり、それで彼女の死を知った。少し前の PNAS に、図と地に関する論文があり、共著者の中に Ungerleider がいたので、元気にやっていると思っていた。亡くなったのは去年の 12 月 10 日ごろだったようだ。

彼女は 1946 年生まれなので、43 年生まれのわたしとほぼ同世代だ。わたしは 1978 年に、NIMH の Laboratory of Neuropsychology の Patricia S. Goldman（後に P. Rakic と結婚）のところに留学した時、同じラボに Ungerleider がいた。年譜によると、彼女は 1975 年に NIMH にきている。ただし、彼女は Mortimer Mishkin のグループに属していた。彼女は 30 代前半で、比較的小柄で、短い黒い髪をしており、潤んだような瞳の美しい人だった。グループが違っていたので、親しくしたことはなかったが、親切だった記憶が残っている。

Ungerleider の名前を一躍有名にしたのは、Mishkin とともに行った、脳内視覚系を what（腹側系）と where（背側系）の二系に分ける提案だ。この枠組みは現在も、脳内の視覚系の機能と構造を考えるときの基本的な枠組みとなっている。これはわたしが日本に戻った後に発表された。

写真は Neuron 誌の追悼文から拝借した。ご冥福をお祈りします。